



第406号
 2020年11月
 〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報委員会
 「教区ニュース」編集部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

ラウダート・シ
 特別年
 2020年5月24日
 2021年5月24日

11月29日
 待降節第1主日
 新しい典礼暦年(B年)
 はじまる

教区ホームページ

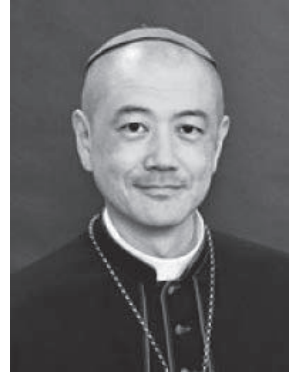
福音のひびき

11月の説教者

1日	諸聖人	松本 勝男 (長浦教会)
8日	年間第32主日	志村 武 (日比野教会・八熊教会)
15日	年間第33主日	早川 和彦 (守山教会)
22日	王であるキリスト	野村 純一 (名東教会)
29日	待降節第1主日	寺尾 總一郎 (膳棚教会)

新潟教区に成井大介司教誕生

「ゆつくりと、一步一步、福音の道を共に歩んでゆきましょう」



大司教区の菊地功大司教が務め、9人の司教と司祭団が共同司式した。松浦悟郎司教も司式に加わった。新型コロナウイルス感染の拡大が懸念される中、成井大介司教は「貴方にゆだねられた群れを愛し、やしない、育ててゆく、導いてください」と願いを託した。

新潟教区のパウロ成井大介司教の叙階式が9月22日、新潟カテドラル新潟教会で行われた。2017年以降空位となっていた司教座に着座した新司教は愛知県岩倉市出身の46歳。叙階式ミサの主司式は、成井司教と同じ神言修道会出身の東京



菊地大司教より授手を受ける成井新司教

司教団の入堂後、フランシスコ教皇の任命書が教皇庁臨時代理大使のヴェチエスラフ・トゥミル参事官がラテン語で読



司教叙階式後に会衆を祝福する成井大司教

成井大司教のモットーと紋章



「いつもふくいんをともに」

新潟教区の豊かな自然とそのいのちの恵みに謙虚にあずかりながら、イエスがもたらした良き知らせを多様な人々とともに喜びのうちに生き、分かち合い、広めていく。

第4回「貧しい人への世界祈願日」

教皇メッセージ「貧しい人に手を差し伸べよ」(要旨)

11月15日(年間第33主日)は「貧しい人へのための世界祈願日」。2015-16年の「いつくしみ特別聖年」の閉幕に当たって制定されて17年に始まり、今年第4回を数える。教皇メッセージのテーマは「貧しい人に手を差し伸べよ」(シラ7・32)。教区ニュース編集部で次のとおり要旨を作成した。

「貧しい人に手を差し伸べよ」とは、生活の中で従うべき聖なる規範として示された古来の知恵だ。1. 旧約のシラ書はキリストより200年ほど前の賢者の言葉である。外国勢力に支配されたイスラエルにとって厳しい試練の時、賢者は主に知恵を求め、主は彼に援助の手を差し伸べた。

2. シラ書全編に、神との親しい交わりの生き方への忠告がまどめられていく。神への祈りと貧しい人との連帯は切り離せない。貧しい人への奉仕が伴ってはじめて、私たちの祈りが聞き入れられる。

3. 弱い立場に置かれていた人々を支え、傷ついた人々をいやし、苦しみを和らげ、尊厳を奪われた人々にそれを取り戻す。それは人生に欠かせない条件だ。

4. 貧しい人への出会いは、どうしたら助けられるかと私たちを揺さぶらざるにはおかない。神の民は貧しい人と連帯し、励ます最前線にいる。教会は証しと愛の行いを、貧しい人のことを世に示す責務を自覚している。

5. 手を差し伸べることで私たちは人生の意味を与えることができる。みずから気づくことができない。生活を脅かす出来事が起きたときに、身近に聖人の善行を見ることができ。人生には、悪事だけでなく尊敬すべき寛大な行為も織り交ぜられており、心は希望で満たされる。

6. 手を差し伸べることは、親密さと連帯と愛を表すしるしである。世界がウイルスの犠牲となつたこの数カ月間、多くの差し伸べられた手を目にするのができた。

7. パンデミックは突然やってきたが、貧しい人に差し伸べられる手は、その必要を自覚するところから始まって、準備さされてきたものだ。確かだと思っていたことが揺らぐが、閉塞感と自由の制限を経験し、失業や人とのつながりも断たれた今、わたしたちは、心の豊かさ、質素であること、

本質を見つめること、互いに助け合い、敬い合う兄弟愛が必要だということに気づいた。今こそ好機だ。長らく私たちは、倫理、善、信仰、誠実さを茶化す道徳的退廃を経験してきた。社会生活の基盤が腐り、争い、暴力、蛮行、成長の阻害を起してきた。

8. 「貧しい人に手を差し伸べよ」とは、責任をもつて直接に関わるようにとの呼びかけであり、最も弱い人の重荷を担うようにとの励ましである。キリストの死と復活によって与えられた自由は、貧しい人に尽くす責任となる。シラ書は具体的な行動を提示する。「泣く人と共に泣き、悲しむ人と共に悲しめ」(7・34)。「病人を見舞うのをためらうな」(35)の言

葉は私たちが愛のわざへと駆り立てる。

9. 「貧しい人に手を差し伸べよ」の言葉は、金融グローバリズム、武器ビジネス、薬物取引などに手を伸ばし、無関心、冷笑自己中心の中に生きる人の姿を浮き上がらせる。

10. 「何事をなすにも、おまえの人生の終わりを心に留めよ」の言葉でシラ書は締めくくられる。誰もが必ず死ぬのだと考へることは、貧しい人、機会に恵まれなかった人に目を向ける助けとなる。また、人生の目標である愛は、分かち合い、献身、奉仕であるが、それは愛されていること、愛するよう駆り立てられていることに気づくことから始まる。喜びのうち

教区の皆さま

2020年10月8日
教区司教 松浦悟郎

「聖ピオ十世会」に関するお知らせ

+ 主の平和

「聖ピオ十世会」についてお知らせします。来る11月3日、名古屋市のある所において、11月3日に聖ピオ十世会司祭によるミサが行われるとの情報が当教区に寄せられました。「聖ピオ十世会」、または「SSPX(The Society of Saint Pius X)」と名乗る団体はカトリック名古屋教区とは一切関係のない団体です。

教皇庁教理省からは「聖ピオ十世会は現時点ではカトリック教会において法的身分を有しておらず、同会の聖職者は教会法上の制裁から解放されているとはいえ、教会において適法に使徒職を果たすことが出来ない」(東京大司教区からの問い合わせに対する2020年9月1日付け教皇庁大使館からの書簡)と回答されています。従って、同会の聖職者はカトリック名古屋教区において、適法に使徒職を果たすことは出来ません。

私は司教として、信徒の皆さまが同会のミサに参加することを推奨することはできません。このことを理解していただき、賢明な判断をされるようお願いいたします。

以上

駐日教皇大使ジョセフ・チェノットウ大司教逝去



駐日教皇大使ジョセフ・チェノットウ大司教が9月8日午前1時29分、小脳梗塞による大孔ヘルニアのため入院先の東京・聖母病院にて逝去した。76歳。



お元気な頃のジョセフ・チェノットウ大司教。2018年11月24日正義と平和全国大会名古屋会場(布池教会)にて。

(略歴)
1943年10月13日インド・ケララ州、コカマンガラム生まれ。9月5日司祭叙階、教会法博士。

77年(カメルーン、トルコ、イラン、教皇庁国務省外務局で、また臨時教皇大使代理としてベルギー、スペイン、北欧諸国、中華民国(台湾)で活動。
99年8月24日ミレヴィノ義大司教また駐中央アフリカ共和国およびチャド共和国教皇大使に任命される。
99年10月30日司教叙階。
2005年6月15日タンザニア連合共和国教皇大使に任命される。
11年8月15日駐日教皇大使に任命される。
11年10月20日来日。駐日教皇大使として着任。
(カトリック中央協議会協HPより)

駐日教皇大使ジョセフ・チェノットウ大司教の追悼ミサ

9月8日に逝去されたジョセフ・チェノットウ大司教の追悼ミサが9月17日、教皇庁大使館主催により東京カテドラル聖マリア大聖堂で行われた。司式は、高見三明長崎大司教(日本カトリック司教協議会会長)と日本の司教団。なお、新型コロナウイルス感染症防止のため、一般の入場は制限する形式で行われた。ミサに先立ち、午前11時半から午後1時半まで、カテドラルでチェノットウ大司教にお別れする時間も設けられた。



神言修道会で4人の司祭叙階式

司祭叙階式

神言修道会会員4人が10月10日、カトリック南



神言修道会司祭叙階式の様子。左からリチャード・ジップル神言神学校院長、ジョナサン・レイ・オリベロス・ピリアコルタ神父、マウリアヌス・ファレンティノ・ウイレム・タグニア神父、松浦悟郎司教、マキシミアノ・マリア・コルベ篠崎エジルソン神父、洗礼者ヨハネ森智宏神父。マリアヌス・バル・ヘラ指導司祭。

階の恵みを受けた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一般の参列者は制限された。叙階式の様子には司祭、神学生、受階者の親族、友人らが静かに見守る中、厳かに執り行われた。

叙階の儀に入り、受階者の呼び出しの後、松浦司教は訓話の中で、これからもキリストに耳を傾け、従い続けるために、次の三つのことを心に留めてほしいと話した。

一つは、人々の痛みや悲しみ、喜びに共感する心を持つこと。共感からくる思いは祈りそのものであり、キリストの思いに触れることだからである。

二つ目は、その共感を分かち合うことと祈ること。共感による行動を促すが、

そこでキリストと共に歩み始める。分かつながっている。三つ目として、主の言葉に従えなかつたり、しんどいと思ったり、つまづいたりした時は、一番はじめに主に呼ばれた水辺にもどって、もう一度主の声を聞くこと。すると再び歩もうとする力が与えられる。

司教はこう述べると、司祭としての奉仕を始め、決意を受階者たちに促した。

そして司祭受階者はその任務を忠実に果たす意志を表明し、上長である司教に従順を約束をした。司祭叙階の儀に入り、

接手と聖別の祈りが行われ、司教に続き司祭団も受階者に接手を授けた。カストラとストラが受階者の親族から奉納され、接

手と叙階の祈りによって叙階された新司祭は今日初めてこの祭服をまとった。そして司教は一人一人に聖香油を塗油し、新司祭はこれをキリストの王権にあずかる印として両手に受けた。続いてパテナとカリスの授与が行われたのち、新司祭は平和のあいさつによって司祭団に迎えられた。

新司祭に叙階された方は、マウリアヌス・ファレンティノ・ウイレム・タクニヤ、洗礼者ヨハネ森智宏、ジョナサン・レイ・オリベロス・ピリアコルタ、マキシミアノ・マリア・コルベ篠崎エジルソンの4人。写真。

なお、神言神学院で4人と共に学んだマリオ・オウ・ポアさんは10月3日、インドネシアにて叙階された。

マザーテレサを祝うミサ

「私たち一人ひとりが神からの呼びかけに気づき、それにどう応えていくかが人生の課題である」

貧しい中の最も貧しい人たちに神の愛を奉仕し

たマザーテレサこと、コルカタの聖テレサ(1910~1997)



を祝うミサが、マザーの命日であり、記念日の9月5日、五反城教会(大海明敏主任司祭)で行われた。



ミサは大海神父、フォンツ・マルセリーノ神父(鳴海教会)、成井アントニオ神父(サレジオ会)の共同司式で行われた。



主権は神の愛の宣教師会名古屋修道院(シスター・ジョセリア)。コロナ禍の中、県内外から信徒ら約50人が参加した。



説教を担当したマルセリーノ神父は、考えられないほど多くの活動をしたマザーテレサの原動力は、イエスからの召命にあったと指摘した。私たちはマザーの活動を祝い、マザーに感謝するだけではいけない。マザーにならって、「一人一人が神からの呼びかけに気づき、それにどう応えるかが問われています」



「イエスは、私たちの周囲にいる人、貧しい人、弱い人、困っている人の

このミサに一家で参加したという信者は、「守られた世界にいるように、とても幸せな気持ちになった」、「説教が足りないことを痛感した」などと感想を述べた。

「貧しい人のための世界祈願日」

11月15日

教皇フランシスコは、年間第33主日を「貧しい人のための世界祈願日」とするよう定められました。ご自分を小さい者や貧しい者と等しい者とみなされたキリストに倣い、わたしたちも、貧しい人、弱い立場にある人に寄り添い、奉仕するよう求められています。

不平等や不正義のない世界の実現に向けて、具体的なわざを通して神のいつくしみのあかし人となれるよう、祈り求めていかなければなりません。

「聖書週間」

11月15日~22日

神の愛を知り、神の心を受け取るために、わたしたちは新約聖書と旧約聖書を神のことばとして読み、大切にします。「聖書週間」は、すべての人、とくに信徒が、この聖書に「より強い関心を持ち、親しみ、神の心に生きる」ようになるための週間です。

すべてのいのちを守るため、

教区正義と平和委員会

「生命倫理を考える」(上)

教区正義と平和委員会は今年度の定例会で、「生命倫理」について学んでいます。6月12日に催された第1回講義の内容を、11月号と12月号の2回に分けて掲載します。

2020年度のノーベル化学賞は「ゲノム編集」の新たな手法を開発した女性研究者二人に授与された。しかし、その二人が警告を発しているように「原子力と同様、生物兵器に使用される可能性がある」ことに耳を傾ける必要がある。

科学技術の発展はたしかに人類に大きな貢献を与えたけれど、他方、環境破壊、人類絶滅の危険をもたらした。科学技術の暴走を止める、教会の掲げる「すべての生命を守る」ためには「生命倫理」を熟考しなければならぬ。その問題意識から正義と平和委員会では20年度の定例会において計4回、学びの場を設けることにした。講師には原子力市民委員会の大沼淳一さんをお願いした。

まず、第1回は、2020年初春から未曾有の危機が続く新型コロナウイルス感染症とは何か、対策はどうしたら良いのかを学んだ。

新型コロナウイルスとはウイルス ウイルスはスペイン風邪、エイズ、SARSなど、感染症を人類にたびたび起こし、甚大な被害をもたらして来た。しかし、地球誕生以来、生命

の進化と共に歩み、生命には欠かせないウイルスは、人間にとって害敵とばかりは言えない。長い生命進化と共にあり、たとえば胎児を守るなどの働きもする。従って、人間は戦いではなく共存の道を探るべきだ。ウイルスは生き残るため、他の生物を宿主とし、寄生して自己増殖をする。宿主を害しては自己滅亡するので共存共栄が当然だ。しかし、時には強毒となり、宿主に害を及ぼすこともある。

エイズウイルスは宿主のチンパンジーを食べたアフリカの先住民にうつり、発症した。植民地化前は、感染はその小さな部落に拡がり、全員の死により収束した。しかし、植民地化後の開発が人口増加、交通・経済活動をもたらし、瞬く間に世界に拡がり、人口密集地の大都市で大量感染するようになった。

今回の新型コロナウイルスは、コウモリから野生動物を介して人へ宿主を移動した。それも、乱開発による環境破壊から、ウイルスと人の距離が縮まり感染の拡大となった。従って、ウイルスとの共存の道は経済利益追求による際限のない環境破壊、大都市への一極集中の文明

ワクチン開発

ウイルスのワクチン開発は早急に行けるものではない。HIVウイルスのワクチン開発は20年を超えて成功していない。たとえ完成しても、突然変異が速く、すぐに効かなくなる。ワクチンは健康な人に接種するので安全確保が絶対条件である。SARSやMERSでもワクチンは出来なかった。けれど、日本政府はワクチン確保に準備費6、714億円を閣議決定している(9月8日)。

経済格差による弱者の被害拡大

新型コロナウイルス感染症の感染者数とこれによる死者数が世界最多となっている米国では、白人よりも黒人をはじめとするマイノリティ(社会的少数者)に深刻な影響をもたらしている。たとえば、黒人の人口比率が30%のシカゴでは、新型コロナウイルス感染症による死者の60%を黒人が占めている。ニューヨークでは、黒人の人口比率が18%であるにもかかわらず、新型コロナウイルス感染者の3人に1人が黒人だ。(20年6月19日ニュースウィーク日本版)

「感染の兆候が体に一つでも現れた時点で検査して隔離することが有効だ。接触機会を減らす対策はひとえに市民生活と経済を犠牲にする一方、検査と隔離のしくみの構築は政府の責任である。その努力をせずに8割削減ばかりを強調するならば、それは国の責任放棄に等しい」(九州大学小田垣孝)

「敬老の日」ミサ、塗油の秘跡

9月20日、金沢教会の「敬老の日」ミサが行われ、高齢信徒の長寿を祝うとともに、一層の健康を願って祈りを捧げました。ミサの中で出席した約40人に、主任司祭の九里彰神父様から塗油の秘跡が授けられました。

ミサ閉会後は聖堂祭壇前で、記念の写真撮影が行われました。教会学校の子供たちからは、手作りのお祝いカードが贈られました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、一同が会しでの祝賀会は取り止めになりました。

よりよい未来をひらくため

美濃・尾張キリシタン顕彰碑建設募金 第2期キャンペーン

名古屋教区が一昨年の待降節から推進してきた「美濃・尾張キリシタン顕彰碑」建設募金キャンペーンは皆様のご協力で現在約600万円に達し、すでに敷地造成は完了しています。いよいよ碑の建設となりました。

当初、募金目標額は1,000万円でしたので残り400万円を募るためのキャンペーンを展開中です。顕彰碑建設に向けて、皆様のご理解とご支援を改めてお願い申し上げます。

名古屋教区殉教者顕彰委員会
委員長 浅井太郎神父

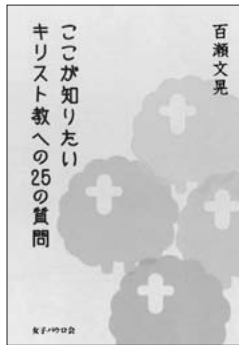
募金期間 7月1日～12月31日
振込先 郵便振替 カトリック名古屋教区 00810-5-50605
通信欄に必ず「美濃・尾張キリシタン顕彰碑建設募金」と明記
問合せ カトリック名古屋教区宣教司牧評議会
殉教者顕彰委員会 早川和彦
〒461-0004 名古屋市中東区葵2-6-35
☎052-936-8366 Fax 052-935-2254

新刊書紹介

ここが知りたい キリスト教への25の質問

定価 1,680円(税込) 女子パウロ会発行

この本は、キリスト教放送局 FEBC の番組「神父さま こんなこと聞いてもいいですか?」が、もとになっています。著者がパーソナリティと対話しながら、リスナーからの、キリスト教に関する真剣な問いや、心の悩みなどに温かく寄り添いながら、一緒に答えを探しています。「信じるだけで救われる?」「死んだらおしまい?」「罪がピンとこない」など、ざっくばらんな質問のなかにあなたが抱えている疑問への答えを見いだせるかもしれません。



新刊書紹介

カトリック教会 情報ハンドブック2021

定価 550円(税込)

巻頭特集回勅「ラウダート・シ」公布5周年に当たって。最新調査による住所録をぜひご活用ください。

11月初旬発行。
問合せ・お求めは
カトリック中央協議会

出版部
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
☎(03)-5632-4429 FAX (03)-5632-4456



東日本大震災・福島原発事故、災害支援金の報告

★発災時よりカリタス福祉委員会へ振込された支援金のご報告
・2011.3.17(発災後募金開始)から 2020.9.30までの合計 32,367,832円

☆2020年9月 振込された支援金

2件 8,007円 (振込手数料引き去り後の金額)
振込ご協力いただいた小教区、個人(敬称略)
金沢教会、青山登美子

★名古屋教区の支援金は

大阪教会管区震災復興支援プロジェクト、福島での原発被災支援活動されている団体を中心に支援しています。

引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

・毎月の支援状況は名古屋教区報で報告。

・各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載。

<http://caritasjapan.jugem.jp>

支援金振込先

口座番号: 00820-5-137456

名義: カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会

※「東日本大震災・災害支援金」と募金の意向を記入願います

ご連絡・問合せ先

名古屋教区カリタス福祉委員会

電話 052-852-1426

FAX 052-852-1422

主にささげる24時間～聖体礼拝

主税町記念聖堂では月に2回聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参覧ください。

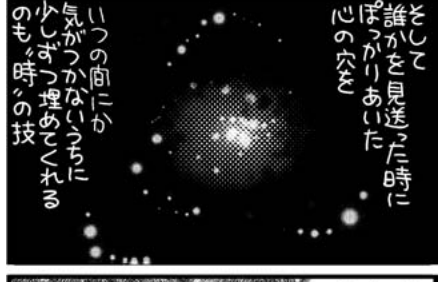
日時 毎月第2・第4木曜日
木曜日19:00～金曜日19:00

場所 カトリック主税町記念聖堂
名古屋市中東区主税町3-33

主催 カトリック名古屋教区
問合せ 名古屋教区本部事務局

☎052-935-2223

責任者 平田政信神父
携帯電話 090-1623-1170



11月の教会暦

1日(日)	諸聖人(祭)
2日(月)	死者の日
4日(水)	聖カロロ・ポロメオ司教(記)
8日(日)	年間第32主日
9日(月)	ラテラン教会の献堂(祝)
10日(火)	聖レオ一世教皇教会博士(記)
11日(水)	聖マルチノ(ツール)司教(記)
12日(木)	聖ヨサファト司教殉教者(記)
15日(日)	年間第33主日
15日(日)	貧しい人のための世界祈願日
15日(日)~22日(日)	聖書週間
17日(火)	聖エリザベト(ハンガリー)修道女(記)
21日(土)	聖マリアの奉献(記)
22日(日)	王であるキリスト(祭)
24日(火)	聖アンデレ・ジュン・ラク司祭と同志殉教者(記)
29日(日)	待降節第1主日
30日(月)	聖アンデレ使徒(祝)

12月の主な教会暦(主日・祭日など)

6日(日)	待降節第2主日
8日(火)	宣教地召命促進の日(献金)
13日(日)	無原罪の聖マリア(祭)
20日(日)	待降節第3主日
25日(金)	待降節第4主日
27日(日)	主の降誕(祭)
	聖家族(祝)

11月の教会行事予定 (*松浦司教)

1日(日)	教区東八事第二墓地合同追悼ミサ
8日(日)	三河B会議/中高生会
10日(火)	難民移住移動者委員会/樹の会
11日(水)	カリタス福祉委員会
12日(木)	教区顧問会*
13日(金)	正義と平和定例会
14日(土)	殉教者委定例会/信徒協幹事会
15日(日)	豊橋教会堅信式*/城北B会議/城南B会議/青年委員会
17日(火)	カトリック看護協会例会
19日(木)	月集*
21日(土)	レジオ名古屋クリア
22日(日)	守山教会堅信式*/城東B会議/北陸B会議/青少年司牧部「子どもの集い」中止
23日(月)	祝共助連絡会「共助の集い」
28日(土)	典礼委員会

28日(月)~1月3日(日)教区事務所休館

教区行事以外の松浦司教予定

11月

- 5日(木) 常任司教委員会
- 3日(木) 常任司教委員会、日本カトリック難民移住移動者委員会

12月

- 9日(水)~12日(土) 司教総会

告知板

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止又は延期となった行事

- 10月18日城南B「セニョール・デ・ロス・ミラグロス」祭り
- 11月22日青少年司牧部「子どもの集い」
- 第6回聖霊病院の「秋の聖書展」

◆11月の炊き出し

- 木 5日 布池、12日 南山・樹の会、19日 聖霊・南山・樹の会、26日 城北橋
- 金 6日 喜望の会、13日 一宮、20日 布池、27日 南山

訂正

教区ニュース405号5面「第12回平和祈念の集い」の写真説明で井澤さんとあるのは井爪さんでした。訂正してお詫びいたします。

建設費の返済に協力を

620件 30,680,990円
目標額 40,000,000円(9/28現在)

達成率 約76.7%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

2020年度 聖書の学び〈岐阜〉後期

日時 11月15日(日) 12:00(昼食)~16:00迄

第一部 イエスはどのような方か(マルコ2章)

「このようなことは、今まで見たことがない」と言った。

連絡 諸事情により一週間ずれる事があります。参加希望者は日時をご確認下さい。

場所 聖マリアの無原罪教育宣教修道会 岐阜修道院・聖マリア女学院 〒501-2565 岐阜市福富201 係り シスター 碓(いかり) ☎058-229-3985(修道院) ☎090-3933-3220(碓・携帯)

交通 JR岐阜駅から市バス12番バス乗り場から乗車。三田洞バス停下車(27~28分乗っています)乗車時に電話を下さい。バス停で待っています。JR名古屋駅から約1時間です。自動車でも来られる方は聖マリア女学院でナビ設定してください。

サダナ ~神への道~【入門コース】

聖イグナチオの霊操を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。

日時 入門A 10月11日(日) 9:30~17:00【終了】
入門B 11月15日(日) 9:30~17:00
入門C 12月12日(土) 9:30~17:00

場所 聖霊会 八事修道院 ミッションセンター
名古屋市昭和区八事本町1番地 (駐車可)

指導 植栗彌神父(イエズス会)

問合せ 攪上 暁子(かくあげ あきこ)
メール ngosdn@gmail.com
☎050-7108-7410

ホームページは右QRコードより

カトリック名古屋教区
セクシュアル・ハラスメント
対応委員会
ホットライン
☎080-2625-4681

受付時間 月~金(祝日を除く)
10:00~12:00
13:00~16:00

名古屋市東区葵2-6-35
カトリック名古屋教区センター
相談の秘密、プライバシーは厳守します。
安心してご相談下さい。

名古屋オルガンの秋 presents
パイプオルガンランチコンサート

日時 11月11日(水) 開場10:00 10:30~11:30

場所 愛知県芸術劇場コンサートホール
J.S.バッハ トッカータとフーガニ短調他
予定していたW.バーニヒ氏は来日が延期となり、変更して吉田文が演奏します。

入場料 1,000円 主催 名古屋オルガンの秋実行委員会
問合せ 二宮音楽事務所 ☎052-505-0151
事情によりコンサートが中止になる場合はHPでお知らせします。
http://organaki.exblog.jp

名古屋市民芸術祭2020参加
パイプオルガンソロと連弾による 無言歌
J.S.バッハとトーマス・マイヤー=フィービッヒ1949の作品

日時 11月21日(土) 13:00開場 13:45分開演

会場 愛知県芸術劇場コンサートホール

パイプオルガン 吉田文(ソロ、連弾)
トーマス・マイヤー=フィービッヒ(連弾)

プログラム 1 J.S.バッハ 前奏曲とフーガ ト単調 BWV535
TH.マイヤー=フィービッヒ エピタフ
J.S.バッハ デュエットI、II BWV802、803 他
2 J.S.バッハ 前奏曲とフーガ イ短調 BWV533
TH.マイヤー=フィービッヒ 楽興の時IV 他

チケット 全自由席 3,000円
チケット取り扱い 二宮音楽事務所 052-505-0151
チケットぴあ 0570-02-9999
愛知芸文プレイガイド

問合せ 二宮音楽事務所 052-505-0151
ninomusicoffice@gmail.com
https://ninomusico.jimdofree.com/

2020年度
名古屋教区合同追悼ミサのご案内

東八事霊園内 第二カトリック墓地

日時 11月1日(日) 14:00(雨天中止)

今年度は新型コロナウイルス感染予防のためマスクを着用のこと。体調のすぐれない方は無理のない様にお願ひします。聖歌は歌いません。

《雨天中止について》
当日のNHK朝の天気予報で午後はっきり雨と予想された場合、合同追悼ミサは中止。当日は11:00迄事務所で電話の問い合わせに対応いたします。公共交通機関をご利用下さい。

問合せ 名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区本部事務局内
カトリック霊園管理事務所
☎052-935-2223、FAX052-935-2254

《お願い》
名古屋霊園管理事務所のご指導により墓地への納骨の際は、申請・許可が必要です。
八事霊園の方は、事前に教区本部事務局墓地係までお知らせ下さい。東八事霊園の方は管理会社(株)名古屋浄苑(☎052-831-1370)までお問い合わせください。

名古屋教区ニュース
スタッフを募集します

名古屋教区広報委員会は、教区ニュースの編集に協力できるボランティアを募集します。内容は次の通り。

- 編集の仕事
原稿の校正やゲラ刷りのチェック等。
- 取材の仕事
各種講演会や教区行事等の取材と写真撮影等。日時は毎週火曜日の午後1時30分~3時30分。場所は名古屋教区センター。ご希望の方は火曜日の午後1時30分以降に名古屋教区センターにお越し下さい。面談を行います。担当は早川努神父(稲沢教会)